

学年だより（ももぐみ）



《2月のねらい》 友だちとのかかわりを深め、集団で遊ぶ楽しさを味わう

《2月のうた》 すうじのうた



《1月の様子》

クリスマスやお正月など、楽しい冬の思い出と共に登園してきた子どもたち。「イルミネーション見たよ!」「スキーに行ったよ」など、色々なことを話してくれました。雪が降った時は、「わあー!雪だ」「雪だるま作れるかな」と、大喜びで目を輝かせていました。今まで、様々な作品を作ってきた作品展では、ぐりとぐらの世界にワクワクしながら部屋に入ってきました。「これは、ぬいさしたんだよ」「私のあった!」と、お家の人に細かく説明していたり、自分のものを見つけることを楽しんでいました。作品を見ると、子どもたちの成長を感じることができたと同時に、年中や年長への期待も膨らんだと思います。残り2ヶ月、子どもたちがまた一つ成長できるように、思い出を沢山作っていきたいと思います。

★共同製作～雪だるま～★

子どもたち全員で花紙を貼り、雪だるまを作りました。花紙を触ると、「本物のお花みたい!」と目を輝かせていました。「ここにも貼れるよ」と、友だち同士で声を掛け合ったり、「もう少しで完成するね」と、夢中になって取り組んでいました。出来上がると、「フワフワでかわいい」「早くみんなに見せたいな」と、達成感を味わっていた子どもたちでした。

★食べ物作り★

食べ物作りでは、お弁当とクリスマスのご飯に分かれて、それぞれ作りました。初めて見る紙粘土に「やわらかくてきもちいい!」「おもちみたい」と興味津々。お弁当の子たちは、上手に握ったおにぎりやサンドイッチ、たまごやきなど箱につめていき、クリスマスのご飯を作る子たちは、チキンやピザ、ケーキなど発想が膨らみ、色鮮やかな食べ物が出来上がりました。つい食べたくなるような作品になりました。

★友だちの顔★

友だちの顔を描くことを知ると「え〜!」という驚きと、ワクワクした気持ちを持ったもも組さん。まずはどんな顔をしているか、目・鼻などパーツはどんな形、色か友だちの顔をじーっと見てみます。見つめられると思わず笑いがこぼれてしまったり、恥ずかしがるかわいらしい姿もありました。「目は白と黒!」「口は三角形みたいだね」と特徴をとらえようとする様子は真剣そのもの。三つ編みなども上手に描き、個性と表現豊かな顔が完成しました。子どもたちにとって“本物のように描く”というのは挑戦ではありましたが、発見も楽しみながら取り組むことができました。

★そよ風文庫★

「てぶくろ」「いたずらこねこ」

